

令和 7 年度 空知地区の研究活動

研修・情報部部長

滝川市立滝川第一小学校

校長 奥 山 直 人

1 はじめに

空知校長会は、小学校長 54 名、中学校長 35 名、義務教育学校長 2 名の計 91 名の会員で組織されている。空知の研究活動は、「自ら未来を拓き とともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す学校教育の推進」を基本主題に、令和 5 年度から第 7 次 3 か年計画に基づき研究をスタートさせた。研究推進にあたっては、研究計画に基づき、空知管内を 15 の共同研究ブロックに分け、五つの研究協議題及び研究領域に関わり、研究・実践・検証に努めている。



◇ 8 月 6 日 第 60 回 空知校長会研究大会 ◇

2 研究計画

(1) 研究推進の基本方針

- ① 空知管内学校教育の課題について、重点的に研究を進め解明を図る。
- ② 全道・全国校長会の研究と関連を図り、系統的に課題解明する。
- ③ 空知管内の学校及び市町の現状に基づき、充実・発展を図る研究を旨とする。
- ④ 「研究・実践・検証」の研究体制の母体を市町校長会とする。隣接する他市町と研究ブロックを構成し共同研究を推進する。したがって、発表は共同研究の内容とする。
- ⑤ 会員を対象とする研究会を年 1 回、夏季休業中に開催する。
- ⑥ 研究サイクルは「研究大会」をまとめとし、10 月までに還流し次年度課題を明確にする。11 月から新たな研究を開始し、年度を超えて推進する。
- ⑦ 研究大会のまとめは、「研修だより」及び「空知野」を通して各ブロックに還流し、以後の研究実践に資する。
- ⑧ 本年度は、次年度の道小兼全連小札幌大会と道中函館大会で提言が当たっていることを踏まえ、管内五つの共同研究ブロックで上記の提言と同領域の協議題を分担し、各ブロック内共同研究の形を生かし、空知としての提言をまとめていくことにした。したがって、本年度は従来の空知校長会研究活動を一時停止した。

(2) 基本主題 <第 7 次 3 か年計画の 2 年次目>

「自ら未来を拓き とともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す学校教育の推進」

(3) 分科会ごとの協議題と重点研究領域

○第 1 分科会 重点領域

「知性・創造性を育むカリキュラム・マネジメントの推進」（全連小第 4 分科会と同領域）

○第2分科会 重点領域

「知性・創造性を育むカリキュラム・マネジメントの推進」(全連小第4分科会と同領域)

○第3分科会 重点領域

「新たな時代に求められる資質・能力の育成と学習評価の充実」(道中第2分科会と同領域)

○第4分科会 重点領域

「知性・創造性を育むカリキュラム・マネジメントの推進」(全連小第4分科会と同領域)

○第5分科会 重点領域

「新たな時代に求められる資質・能力の育成と学習評価の充実」(道中第2分科会と同領域)

3 研究活動の概要

- | | |
|----------------------------------|------------|
| (1) 全連小各種委員会調査への協力 | |
| (2) 第68回 北海道小学校長会教育研究根室大会への運営・参加 | 25名参加 |
| (3) 第77回 全連小研究協議会福岡大会への参加 | 5名参加 |
| (4) 第66回 北海道中学校長会研究大会胆振・室蘭大会への参加 | 30名参加 |
| (5) 第76回 全日中研究協議会香川大会への参加 | 3名参加 |
| (6) 空知教育センター講座「学校経営」講師として研修会に協力 | 研修情報部長、副部長 |

4 おわりに

令和7年度は、次年度の全連小北海道大会兼道小札幌大会と道中函館大会での空知からの提言発表に向け、空知校長会としての第7次3か年計画の研究協議題に対する取組を一時停止し、管内15の共同研究ブロックで、前述の空知提言に向けた共同研究を管内全体で実施することとした。

8月の研究大会で分科会討議を実施し、全連小北海道大会兼道小札幌大会の第4分科会には「深川ブロック」が、道中函館大会第2ブロックには「東空知ブロック」が空知を代表して提言することとなった。

11月4日に行われた市町研修担当者研究協議会では、次年度の本研究3年次に向けた取組を確認し、研究をスタートさせたところである。

第7次3か年計画の3年次目の研究については、令和5年度の空知校長会第59回研究大会の成果と課題を受け、全会員で研究を推進し、これまでに培ってきた研究のマネジメントサイクルに基づき計画的に研究を進めることで、空知の子どもたちのために校長としての職能向上に努めてまいりたい。



◇第60回 空知校長会研究大会 分科会の様子◇